



国が平成25年を「メンテナンス元年」と位置付け、インフラ老朽化対策に向けた提言を行っています。本誌では、国の情報や県の長寿命化の取組をわかりやすく紹介していきます。

今回の特集！ 公園施設の長寿命化 Now！



写真提供：内藤廣建築設計事務所

草薙総合運動場新体育館「このはなアリーナ」 (平成27年3月末完成予定)

外壁にメンテナンスの容易な亜鉛合金板を使用し、天井部には点検用通路を、外壁部には点検補修用の命綱を吊ることが可能なパイプを設けることで、維持管理の簡易化を図っています。

公園の長寿命化推進を担当している公園緑地課の渥美さんにお話を伺いました。

「このはなアリーナ」は県産木材を使用した斬新なデザインが話題ですが、ライフサイクルコスト削減の取組も先進的です。



Q. 県が管理運営している公園にはどんな公園がありますか？

A. 愛鷹広域公園、静岡県富士山こどもの国、静岡県草薙総合運動場、吉田公園、小笠山総合運動公園、遠州灘海浜公園、浜名湖ガーデンパークの7公園の管理運営を行っています。

Q. 公園施設の長寿命化計画はどんな計画ですか？

A. 公園の各施設で損傷が少ないうちに細かめな補修を行い、施設を長持ちさせることでトータルの補修費用が少なくなるような10年間（平成25年度から平成34年度）の補修計画を作成しています。

Q. 具体的にはどんなことをしていますか？

A. 公園施設には、野球場、展望塔や遊具などいろいろな施設があります。みなさんに安全に安心して使ってもらうために日頃から日常的な点検を行い、それぞれの施設にあった方法で、適切な時期に補修を行っています。



遊具の点検状況



ウッドデッキの塗装の様子

Q. 工夫している取組はありますか？

A. 公園施設には、専門的な点検や補修を必要とするものと比較的簡単に点検や補修ができるものがあります。こうした簡単な補修ができるものについて、企業とボランティアの方々の協力により、楽しみながら補修作業のできる県民向けの塗装イベントを行っています。このような機会を通じ、来園者が公園に愛着を持ってもらえることを期待しています。

また、指定管理者制度を用いて、民間の活力を活用した管理運営を行っています。これにより、県民目線で、より魅力のある公園づくりを行うとともに、管理コストの削減も図っています。



ベンキ塗りイベント(浜名湖ガーデンパーク)

1月22日 第2回社会資本長寿命化推進委員会を開催しました



静岡県の社会資本長寿命化を進めるため、交通基盤部長を委員長に、社会資本施設を所管する各局長を委員とした社会資本長寿命化推進委員会を毎年開催しています。

今回の委員会は、11月に引き続き、今年度2回目の委員会で、各工種の取組状況報告と、来年度に実施する取組を紹介し、各委員から活発な意見が出されました。

委員からは、県民の方々に向けたわかりやすい資料づくりや早期に維持管理費用を把握することなどの意見が出され、静岡県としても総力を挙げて取り組んでいきたいと思えます。



1月30日 第26回アセットマネジメント担当者会議幹事会開催

毎年2回、道路や河川等の長寿命化対策を進める都道府県や政令市の職員が集まり、意見交換会や勉強会を行っています。

1月30日に今年度2回目の会議が青森県で開催され、全国の自治体から53名（静岡県3名）が参加し、各県や市のインフラ長寿命化の課題に関する意見交換を行いました。

また、前日には全国担当者会議が行われ、最近の長寿命化に関する取組事例の報告がされました。本県からは道路保全課の菅沼班長が「舗装の長寿命化の取組」について発表を行いました。

意見交換会で出された課題に関する回答については、各長寿命化担当者に配布し、情報共有とレベルアップを図っていきます。



ふじのくに公共資産管理基本方針(静岡県公共施設等総合管理計画)を作成しました

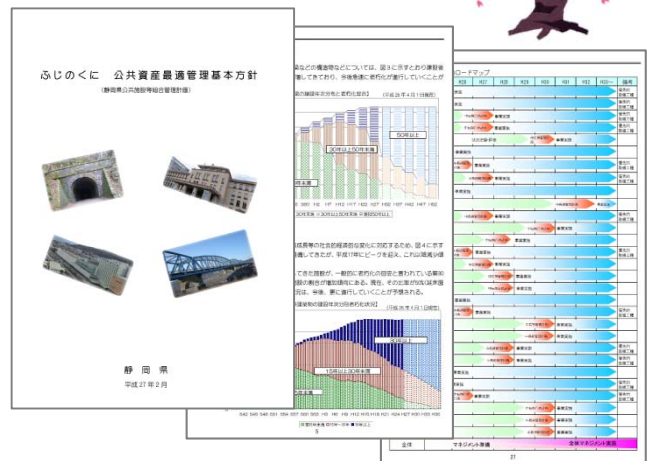


平成27年2月に「ふじのくに 公共資産管理基本方針(静岡県公共施設等総合管理計画)」を作成しました。

これは、国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づく地方公共団体の「行動計画」にあたります。

静岡県では、公共施設等の適切な維持保全と財政負担の軽減の両立を図るため、経営管理部が中心となり、既存の「社会資本長寿命化行動方針」「ファシリティマネジメント基本方針・実施方針」を元に、総合的かつ計画的な管理に関する今後10年間の基本方針をとりまとめました。

インフラ施設については、各工種のロードマップを新たに作成し、計画的に長寿命化の取組を進めていく予定です。



<第16号の発行にあたり>

今回は、身近な施設でもある公園の長寿命化の取組を特集しました。人口は減少し、公共事業の予算も低迷する中、県民の共有財産である公園を長く、楽しく、そして安全な利用ができるようにと願うボランティアの方々のご活動が、次世代に社会インフラをつないでいく重要な取組と感じました。

また、全国会議に出席し、静岡県としても他県や他の政令市から意見や情報を収集し、さらに長寿命化計画の推進に活かしていきたいと思えます。

発行・編集
静岡県建設技術監理センター
技術支援第2班 沼野・中村

〒421-0122
静岡市駿河区用宗1丁目10-1
TEL 054-268-5004
FAX 054-258-6030

「静岡県社会資本長寿命化計画の取組」「アットタイムズ」のバックナンバーについてはホームページをご覧ください。

静岡県 長寿命化

検索